

『京都市山科区』



東山支所 中谷隆夫

私が山科区に移り住んで、早いものでもう10年ほどになります。

明治22年4月に町村制施行により、当時の宇治郡（現在の京都市南東部と宇治市東部に相当）に宇治村・笠取村・醍醐村・山科村（安朱村他22の村）の4村

が成立し、その後、大正15年10月に「山科町」へ、昭和6年4月に東山区に編入、そして昭和51年10月に東山区から分区し「山科区」となり、今年30周年にあたります。

山科区一帯は平安時代の頃には、すでに山城国宇治郡山科郷と呼ばれており、その歴史は縄文・弥生時代にまでさかのぼれるようです。私が想像していたより、遙かに歴史のある町です。



JR山科駅周辺の再開発により、町並みも変わりつつありますが、歴史に残る旧跡も多数あります。その中でも、とりわけロマンチックな場所として、小野にある「随心院」をお勧めします。

「随心院」は謎の美女(?)として名高い小野小町

とのゆかりも深く、「文塚」や「化粧の井戸」など敷地内には小町ゆかりの場所がたくさんあります。また、深草少将の「百夜通（ももよがよい）」はあまりにも有名な話でしょう。



「百日通われてこられたなら、あなたの許に参りましょう」と云う小町の言葉に、伏見の深草から小野の里に雨の夜も雪の夜も通い続けたけれど、九十九日目の夜、降る雪と病により最後の一夜を前に世を去った深草少将との伝説です。

小野小町については様々な伝説がありますが、現代の百夜通を实践されているかもしれないあなたや、文塚をお持ちかもしれないあなたも、この地を訪れ、ゆっくりと思いをはせてみるのもいいかもしれません。11月下旬から12月初めにかけてライトアップもされますので、この時期は、より幻想的な雰囲気にも包まれることでしょう。

地区連絡部門一泊旅行



上諏訪温泉 **“浜の湯”**

開催日 平成19年4月15日(日)・16日(月)

多数のご参加をお待ちしています!!

ありがとうございます。
これからも

地域とともに コミュニティ・バンク

地域とともに…これが「コミュニティ・バンク」の原点です。

地域の皆様にとって一番近い存在であるように、
これからも京都税理士共同組合のみなさまとともに歩んでまいります。



<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

税理士協同組合の 報酬自動支払制度

税理士とその関与先のために
NICHZEI GROUP

ご利用前…

自動振替は便利だが、
・訪問回数が減り関与先が心配するのでは…
・関与先からの抵抗があるのでは…
・値下げのきっかけになってしまうかも…
といった懸念を少しもっていたが、

ご利用後…

心配は全くありませんでした！
世の中、口振による料金支払いは当たり前。
今では、すべての関与先に拡大しています！

No.1
の実績

いま最も多く利用されている
税理士報酬専門の自動集金システムです。

全国 13,000 の税理士事務所でご利用中！ (平成18年7月現在)

税理士協同組合事務代行社

お申込み、お問い合わせは、こちらまで。

株式会社 **日税ビジネスサービス** ☎0120-155-551

〒163-1588 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー-29階 URL <http://www.nichizei.com/nbs/hs/>

茶遊小路 竹聲 (ちくせい)

伏見支所 古瀬英美子



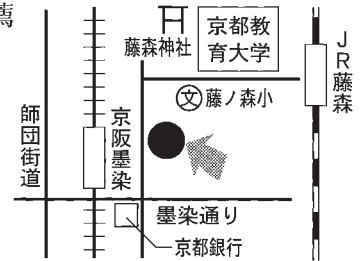
良さを味わうことができますし、抹茶あんみつ・抹茶ぜんざい(700円)などは上品な甘味です。又、煎茶道のお手前を楽しむことができる「煎茶趣席」(2,500円)もあります。(要予約)

ご主人の武村さんは日本茶のソムリエ、日本茶インストラクターの資格をお持ちなので、お茶の性質や淹

京阪墨染駅から歩いてすぐのところ今回ご紹介いたします「茶遊小路竹聲」があります。竹聲は、明治12年から茶葉を販売する老舗「椿堂」に併設する茶房で、東福寺御用達でもある茶舗のご主人武村龍男さんが「一服の至福」を知って欲しいとの思いを形にしたものです。通りに面した「椿堂」の横にある石畳を奥へ進み、格子戸を引くと店内に日本茶の香りが漂う静かな空間があります。漆黒の梁が印象的で、アンティーク調の家具や貴重な茶器が飾られており、テーブルにはお茶の香炉が焚かれ、ゆっくりと流れる音楽の中で、のんびりした一時を過ごせます。ここでのオススメは、日本の茶園で作られたという和紅茶とケーキのセット(800円)です。和紅茶は甘みがあり、ストレートで飲むのがいいと思います。とても飲みやすく一杯目は目の前で淹れてもらい、二杯目からは自分のペースで楽しめます。季節の生菓子が付いた煎茶・玉露・特上ほうじ茶などの各セット(800円~1,500円)は日本茶の

れ方を教わりながら一味違ったお茶を味わうこともできます。私自身幼き頃、製茶工場の中で遊んで過ごしたことから、お茶の香りが懐かしく、とても気分が和むところ。伏見税務署からも歩いて行けますので、これからの確申期にふと日常生活を離れてリラックスしたい先生方にぜひお薦めです。

『茶遊小路 竹聲』
京都市伏見区深草北新町635
TEL 075-644-1231
営業時間 11:00~18:00
定休日：日曜日(祝日は不定休)
京阪墨染駅より徒歩2分



コースとっておきのお店

ここでは組合員先生方にお薦めのお店をご紹介します。

蜃氣楼

伏見支所 大江 孝明



祇園の宮川町のお茶屋街に、今回私がご紹介いたします和食のお店「蜃氣楼」があります。印象的な看板が石畳の道に非常にマッチしており、まさに祇園の隠れ家的な佇まいのお店となっています。

暖簾をくぐって店内に入ると、1階は8席のカウンターと12席のテーブル席に分かれており、2階に上がれば、最大16名のお座敷とソファ席があります。1階のカウンターで素敵な料理長とおしゃべりをしながら食事を楽しむもよし、2階のお座敷で食事を楽しむのもよし、様々な楽しみ方ができるお店です。

さて、お料理の内容ですが、コースは3,000円・4,000円・事前予約が必要な6,000円の3種類があります。この中でおすすめなのが、4,000円の創作コースです。お酒の種類も豊富にありますので、「割烹」でもなく



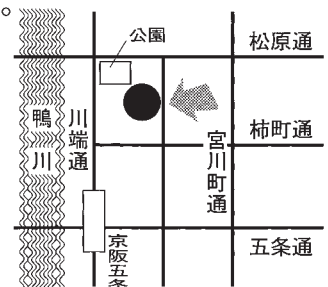
「居酒屋」でもなく「ごはんや」を十分に堪能していただけます。コース以外の単品も充実しており、個人的には「もち豚の天ぷら」が好きです。お昼のランチもおすすめで、ランチについている「お味噌汁(赤だしでとってもおいしい!!)」は絶品です。

穴場の場所にあり、かといってさほど不便でもなく本当に隠れ家的な存在で、サービススタッフの心地よいサービス(非常に親近感が持てる接客です!)を提供していただけます。場所柄、芸・舞妓さんも普段使いによく来られるとか。京都の方と行くのはもちろんのこと、京都以外の方と行くと非常に喜ばれます。

最近、週末以外でも予約で埋

まっていることがあります。予約は必須です。

『蜃氣楼』
京都市東山区宮川筋6-361
TEL 075-541-0706
営業時間 11:30~15:00
17:30~24:00
定休日：木曜日
京阪「五条駅」から徒歩3分



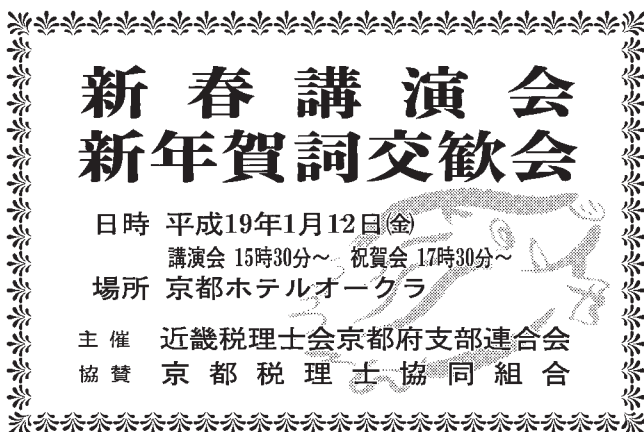
組合の動き

- 8・21 学院・短期講座開講「平成18年度税制改正実務上のポイント」
講師 第一部 山下宜子先生
第二部 中野 修先生
参加 72名
- 8・22 地区連絡小委員会開催（懇談会の打合せ）
- 8・22 第一生命との懇談会開催
- 8・24 税務便覧制作委員会開催（平成18年分税務便覧校正作業）
- 8・25 神戸税理士協同組合第16回通常総代会懇親会出席
於 ニューオータニ神戸ハーバーランド
- 8・28 朝日生命表敬訪問
- 8・29 大阪・奈良税理士協同組合第18回通常総代会出席
於 都ホテル大阪
- 8・30 正副理事長会開催
- 8・30 常務理事会開催
- 8・30 理事会開催
- 8・30 京都税理士協同組合厚生会役員会（京都税理士協同組合厚生会より支払う事業推進費について）
- 8・31 有限会社近畿税務代理社臨時株主総会出席
於 大阪・奈良税理士協同組合
- 8・31 近畿税理士協同組合連合会・推薦会議・理事会出席
- 8・31 全税共近畿地区会役員会に出席
- 9・4 税務便覧制作委員会開催（平成18年分税務便覧校正作業）
- 9・5 学院・短期講座開講「税理士事務所がおさえておくべき源泉徴収のあらまし」
講師 岩崎紀子先生
参加 48名
- 9・6 朝日生命との懇談会開催
- 9・11～12 大同保険推進協議会開催（当番：北陸）
於 加賀屋
- 9・12 学院・民法勉強会開講・全10回（1回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 44名
- 9・14 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（1回目）
講師 三宅 司先生
参加 60名
- 9・20 日本生命との親睦ゴルフコンペ
- 於 ジャパンエースゴルフ倶楽部
- 9・21 近畿税理士協同組合連合会第11期通常総会出席
於 京都税理士会館
- 9・25 保険委員会（大同）開催
- 9・25 第11回通常総会及び日本税協連創立10周年記念式典に出席
於 第一ホテル東京
- 9・26 学院・短期講座開講「取引相場の無い株式の評価」
講師 高島良彦先生
参加 115名
- 9・26 学院・民法勉強会開講・全10回（2回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 9・28 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（2回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 10・3 学院・民法勉強会開講・全10回（3回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 10・4 保有契約達成祝賀会打合せ開催（祝賀会の開催要領について）
- 10・4 大同代理店協議会事前打合せ開催
- 10・4 大同代理店協議会開催（上京・中京・左京）
於 京都ホテルオークラ
参加 90名
- 10・5 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（3回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 10・5 地区連絡小委員会開催（支部役員との懇談会開催要領について）
- 10・6 法規・諸規則委員会開催（総務委員会の設置について）
- 10・10 学院・民法勉強会開講・全10回（4回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 10・10 正副理事長会開催
於 ホテル北野屋
- 10・10 両丹協議会並びに両丹地区懇談会開催（園部・福知山・宮津・舞鶴・峰山）
於 ホテル北野屋
参加 86名
- 10・11 事業委員会及び事業推進協議会開催（事業推進協議会開催要領）
- 10・12 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（4回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 10・12 両丹5支部対抗ゴルフコンペ開催
於 久美浜カントリー倶楽部
参加 16名
- 10・13 学院・短期講座開講「事業承継・自社株対策のコンサルティング手法」
講師 髭 正博先生
参加 139名

新春講演会 新年賀詞交歓会

日時 平成19年1月12日(金)
講演会 15時30分～ 祝賀会 17時30分～
場所 京都ホテルオークラ

主催 近畿税理士会京都府支部連合会
協賛 京都税理士協同組合



- 10・13 大同代理店協議会事前打合せ開催
10・13 大同代理店協議会開催（下京・右京・東山・伏見・宇治）
於 ウェスティン都ホテル京都
参加 95名
- 10・17 学院・短期講座開講「物納・延納制度大改正－その実務と対応」
講師 右山昌一郎先生
参加 62名
協賛：株式会社 国土工営
- 10・17 学院・民法勉強会開講・全10回（5回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 10・17～18 全国税理士共栄会第32回定期総会出席
於 京王プラザホテル札幌
- 10・19 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（5回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 10・19 立命館大学社会人自己推薦特別選抜入学試験の受験者面談（1名）
- 10・23 学院・短期講座開講「財務アドバイザーのための金融講座」
講師 大垣尚司先生
参加 62名
- 10・24 学院・民法勉強会開講・全10回（6回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 10・24 保険小委員会（大同生命・全税共合同）開催（代理店協議会開催報告並びに全税共表彰式について）
- 10・25 学院・短期講座開講「中小企業の会計に関する指針の解説」
講師 久乗 哲先生
参加 129名
- 10・26 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（6回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 10・29 第一生命との親睦ゴルフコンペ
於 琵琶湖カントリー倶楽部
- 10・31 学院・民法勉強会開講・全10回（7回目）
講師 三木義一先生・山田 希先生・本山 敦先生
参加 47名
- 10・31 学院小委員会開催（「NPOアカウンタント」養成講座について）
- 10・31 京税協総合事業保障プラン保有契約高3000億円達成記念祝賀会開催
於 京都ホテルオークラ
参加 104名
- 11・1 旅行・ゴルフ世話人会開催（一泊旅行の選定・チャリティーゴルフコンペの開催について）
- 11・2 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（7回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 11・2 事業小委員会開催（提携企業利用還元金処理について）
- 11・2 支部役員との懇談会開催（右京・左京・宇治）
参加 41名
- 11・7 学院・短期講座開講「中小企業の経営分析と経営支援のすすめ方」（両丹）
於 福知山サンプラザ万助
講師 石原 豊先生
参加 43名
- 11・7 編集委員会開催（第115号の編集割付）
- 11・8 事業委員会開催（提携企業利用還元金処理について）
- 11・9 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（8回目）
講師 三宅 司先生
参加 65名
- 11・13 全税共VIP君・ランちゃんチャリティーゴルフコンペ開催
於 グランベール京都ゴルフ倶楽部
参加 87名
- 11・15 正副理事長会開催
- 11・15 相談役会開催
- 11・16 学院・実務講座開講「所得税の基礎知識と計算の実務」・全10回（9回目）
講師 三宅 司先生 参加 65名
- 11・16 編集委員会開催（第115号のゲラ校正）
- 11・17 学院・短期講座開講「社会福祉法人会計の基礎知識」
講師 田中一実先生 参加106名
- 11・17 編集委員会開催（第115号のゲラ再校正）

理事会報告

◆第3回理事会

平成18年度第3回理事会を8月30日午後3時00分より開催致しました。

当日の出席状況は次のとおりでした。
理事44名 監事5名 相談役1名

【決議事項】

第1号議案 組合加入並びに賛助会員加入承認の件

次の個人加入8名・法人2社、賛助会員として組合員から移行の先生3名・新規入会2名が組合加入並びに賛助会員加入を承認されました。なお、組合員数は個人組合員1,282名、その出資金額12,538万円、法人組合員32社、その出資金額320万円となりました。また、賛助会員は105名となりました。

（申込順・敬称略）

（個人組合員）

・白木 勝博 ・田中 久代 ・奥野召太郎 ・駒井 良一
・谷口 薫 ・奥田 進 ・油屋 美男 ・巴山 知樹

（法人組合員）

・税理士法人 オフィスサポート
・税理士法人 白井会計事務所

（組合員から移行の賛助会員）

・篠田喜代子 ・木村 正 ・池田 昌義
（新規入会賛助会員）

・横田 聡 ・石山 勝彦

以上、第1号議案が承認可決されました。

【審議並びに報告事項】

I. 財務報告の件

二股財務委員長より7月末日までの2ヶ月間の財務報告がありました。特に問題もなく全員了承しました。

II. 各部門報告 (主要事項)

- ① 組合事務合理化システムの課題等について……5月末に事務合理化をはかるために、ソフトを導入し、2ヶ月が経過したが、多少の修正を加えたり、まだ使う時期がきていないものもあるが、以前より短時間で処理できるようになった。また今後の課題として、将来の可能性に鑑み、還元方法やソフトの導入を検討していきたい旨報告がありました。
- ② 「総務委員会」の設置について……現在、総務委員会という組織がないため、今後設置する方向で考えている旨報告がありました。
- ③ 京都税経学院の各講座開催状況について……これから開催する予定の講座で、まだ人数が少ない講座があるため、是非ご参加いただきたい旨要望がありました。
- ④ 立命館大学社会人特別選抜入学試験要領について……本協定が2008年度までとなっているため、あと2回で終了する旨報告がありました。(2008年4月入学者の推薦で終了)
- ⑤ 保有契約高3,000億円の進捗状況について……7月末の確定で3,001.1億円となり、悲願の3,000億円を達成した。併行して行っている表彰旅行の達成者は26名となっている旨報告がありました。
- ⑥ 定期保険集団扱特約等の改正 (みなし会員規程の新設) について……「総合事業保障プラン」については、組合員の先生本人・事務所職員・関与先等京都税理士協同組合厚生会会員専用の福利厚生商品として、保険料が割安になっているが、事務所職員の退職並びに関与先との顧問契約解除等によ

り、会員脱退の際には一般の保険料率を適用する個人扱いになっていた。しかしこの度、用件のもとみなし会員として継続ができるようになった旨報告がありました。

- ⑦ 「養老保険の集団取扱契約」について……新しく「養老保険」が取扱商品に加わった旨の報告がありました。
- ⑧ 上期提携企業との事業推進協議会について……今年も提携企業48社と推進協議会を10月11日(水)に開催する旨報告がありました。(前回理事会承認済の3社を含む48社)
- ⑨ 平成18年分税務便覧の販売計画等について……今年も昨年と同様40,000部作成し販売する旨報告がありました。
- ⑩ 10/10両丹地区懇談会について……園部支所については、今までどおり両丹地区のブロックで参加していただく旨説明がありました。
- ⑪ 「支部役員との懇談会」開催要領について……新企画である組合役員と各支部役員との懇談会・懇親会は3回に分けて実施する。(11月2日(木)→右京・左京・宇治 11月24日(金)→中京・下京 11月27日(月)→上京・東山・伏見) 組合事業の理解を深めていただき意見等を伺いたい旨報告がありました。
- ⑫ 11/13第38回全税共チャリティゴルフコンペの開催について……是非とも参加していただきたい旨要望がありました。
- ⑬ その他……今年は初めて全税共統一キャンペーンの三ツ折パンフレットを作成した。従来のポスター・チラシと併せて営業職員に配付し、表彰基準を意識しながら目標達成していただきたい旨報告がありました。
- ⑭ 理事より支所規約第7条についてお願いがあり、検討することになった。

全国税理士共栄会だより No. 366 (2006年10月号)

第21回 全国統一キャンペーン、推進中!

キャンペーン期間/平成18年9月・10月・11月



キャンペーン期間中は、関与先の暮らしと事業の繁栄と、税理士業界の発展のために意図されている提携生命保険会社の営業職員が左掲の「通行手帳」を持って税理士事務所を訪問いたします。この「通行手帳」は昨年のキャンペーンで優秀な成績をあげた営業職員だけに特別に配布しているものです。当該職員が事務所に見えた際にはあたたかい対応をお願いいたします。

キャンペーンは次の生命保険会社の協力によって進められています。

- 朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●明治安田生命 ●住友生命 ●富国生命 ●アクサ生命
- AIGエジソン生命 ●アリコジャパン ●マスマチュアル生命 ●AIGスター生命

暮らしと事業の安心保障

VIP大型総合保障制度
●経営者大規模保険
●最新2億円の特約
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険
●経営者大規模保険

老後の安心保障

熱出型企業年金保険 全税共年金
●15年確定年金
●10年確定年金
●10年繰上り年金
●10年繰下り年金
●10年繰上り年金
●10年繰下り年金
●10年繰上り年金
●10年繰下り年金
●10年繰上り年金
●10年繰下り年金

全国税理士共栄会だより No. 367 (2006年11月号)

全議案を原案通り承認決定

第32回定期総会を開催 札幌市



景気の明るい兆しに期待
久原会長、VIP・年金の普及に一層努力
接携で表明
全税共は10月17日(火)午後から札幌市で第32回定期総会を開催し、予定した全議案が満場賛成で原案通り承認決定されました。
全税共は10月17日(火)午後から札幌市で第32回定期総会を開催し、予定した全議案が満場賛成で原案通り承認決定されました。
全税共は10月17日(火)午後から札幌市で第32回定期総会を開催し、予定した全議案が満場賛成で原案通り承認決定されました。

ただ今、第21回全国統一キャンペーン推進中! キャンペーン期間 平成18年9月~11月

「さゆり」と聞いてある年代の方は吉永小百合を思い浮かべる方が多いであろうが、吉永小百合でもなければ、石川さゆりでもなく小説の主人公である芸妓の名前である。

京都を扱った物語を色々と探しているときに何となくひらかなの持つ柔らかさが目に止まった小説である。

そしてアメリカ人である著者が京都祇園の花柳界を題材にした小説である。昨年、ステイヴン・スピルバーグが監督し中国の女優チャン・ツイイーの主演で映画化されたのは記憶に新しいところである。ダイジェスト版を見ただけであるが、何となく違和感を覚えたのは私だけであろうか。

まっ、それはさておき、物語は、主人公さゆりが自分の半生を語る形で進んでいく。時代は昭和5、6年頃、日本海に面した釜戸という貧しい漁師町で育ったさゆりは、家計を助けるため、9歳で姉とともに祇園へと身売りされた。荷馬車に揺られ、長い汽車の旅を経てやっと京都駅に着く。詳しい事情も聞かされず不安一杯で降り立った駅で初めて見た京都



八坂神社

の街は今までに見たこともなく大きなものであった。その時代では乗り物は人力車が主流であった。もちろん初めて乗る人力車に揺られ、初めて自動車を見、電気で街が明るいのに驚きいくつかの角を曲がった別の通りの橋を渡ったところにお城のようなと表現している南座を見て祇園富永町へと向かう。今でこそ高い建物がたくさん建って南座もそんなに目立たないが、その当時夕闇に浮かぶ建物はとてつもなく大きく感じたことであろう。

富永町の置屋へ着いたその玄関先で、これから先に壮絶なバトルを繰り広げることとなる先輩芸妓の「初桃」と遭遇する。会うなり「ちょっと、その屑みたいなもん、ほかしといとくれやす。いまから、いて参じるのやさかい」と一蹴されてしまう。この頃の富永町は、茶屋、置屋が軒を連ね祇園の中でも早くから開けた由緒ある地域であったらしい。今では、ビルが建ち並び昔の面影もなくなってしまっ



お茶屋 (一力)

ている。その日から、さゆりの辛く苦しい下積み生活が始まる。今の時代のように洗濯機や湯沸器があるわけでもなく、失敗をすれば罰を与えられ、病気になって医者にも掛かってもその費用は自分の借金となる。また、初桃からも執拗な嫌がらせを



編集委員 河村 澄子

受ける。何故ここまでするのかと思うぐらいの嫌がらせである。理由は、さゆりの器量が良くまた、その特徴のある灰色がかった青い瞳のせいであろう。

そんなある日、女紅場(舞妓・芸妓の学校)への使いの帰りあまりの辛さに白川の畔で泣いているところへさゆりの人生での心の支えとなる運命の人「会長

さん」と出会う。その人は、泣いているさゆりにカキ氷でもお食べと小銭とあとで口許をお拭きとハンカチを渡して南座の方へと芸妓と去って行った。一筋の光を感じながら頂いた小銭でカキ氷を買い、つり銭を握り締め四条通りを祇園さん



辰己大明神

(八坂神社)まで走り、それを賽銭箱へと投じどうかはやく芸妓になれませうようにお願いをした。そしてもらったハンカチをそっと懐に大切にに入れて生涯のお守りにする。

その後、姉芸妓となった豆葉とさゆりの二人と初桃との間での女の戦いが始まる。その舞台として出てくるのが、先斗町、

一力、歌舞練場、京都といえば誰もが口にする有名な場所ばかりである。その華やかさの蔭で目には見えない女の戦いが繰り広げられた。そして、最後の戦いは先斗町のお茶屋で終結し、初桃が破れやがて祇園を去って行く。その先斗町も今では敷居が低くなって、観光客や若者が気軽にける所へと変貌しているようだ。

戦いに勝利した後のさゆりは祇園一の売れっ子芸妓となりやがては、思いを寄せていた会長の世話を受けることとなり、引退後はニューヨークへと移り住み一生を終える。

この物語は、フィクションであるが、時代考察や当時の祇園の暮らしについては実際にお茶屋の女将や芸妓に取材をして書かれたものである。当然のことながら、戦争中は閉鎖され芸妓たちも散り散りになった。

戦後、復活してからは祇園の黄金時代であった大正期のようにはならなかったようだ。日本人であり、ましてや京都人であるが、アメリカ人である著者に反対に祇園の当時の姿を教えてもらったようなものだ。

そして、語り手が祇園の芸妓であるため、会話がほとんど京ことばで書かれている。京都人でも純粋の京ことばは、舞台となっている祇園界限の方しか話すことができないであろう。それに今の舞妓さんは地方出身者が多くて微妙にイントネーションが違うのが気になる。そこで疑問、原作本は京ことばをどのような形で表現しているのだろうか？



先斗町